SCIENCE ARTS

事業計画及び
成長可能性に関する事項

証券コード：4412（東証グロース）

2026年11月25日





buddycom
Science Arts









SCIENCE ARTS

目次

01 会社概要 p.03

02 成長戦略 p.25

03 業績とKPI p.39

04 参考資料 p.47

01

会社概要

SCIENCE ARTS

基本情報

会社名	株式会社サイエンスアーツ
所在地	東京都渋谷区渋谷一丁目2番5号　MFPR渋谷ビル5階
代表者	代表取締役会長　平岡　秀一 代表取締役社長　平岡　竜太朗
設立	2003年9月19日
資本金	4.5億円
従業員数※1	77名（2026年8月末現在）
ミッション	フロントラインワーカー※2に未来のDXを提供し、明るく笑顔で働ける社会の力となる
事業内容	フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム 「Buddycom（バディコム）」の開発・販売
Buddycomリリース	2015年9月

※1 臨時従業員を含む
※2 フロントラインワーカーとは、デスクワーカーではなく、現場の最前線で活躍する労働者のこと

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

サイエンスアーツの想い

フロントラインワーカーに
未来のDXを提供し、

明るく笑顔で働ける社会の力となる。

Providing front-line workers with the digital transformation of the future and contributing to creating a society where people can work with bright and cheerful smiles.

サイエンスアーツ　ミッション

このミッションを実現するために…

SCIENCE
科学
最先端のテクノロジー

×

ARTS
芸術
アートやデザイン

が必要不可欠だと我々は考えています

SCIENCE ARTS は

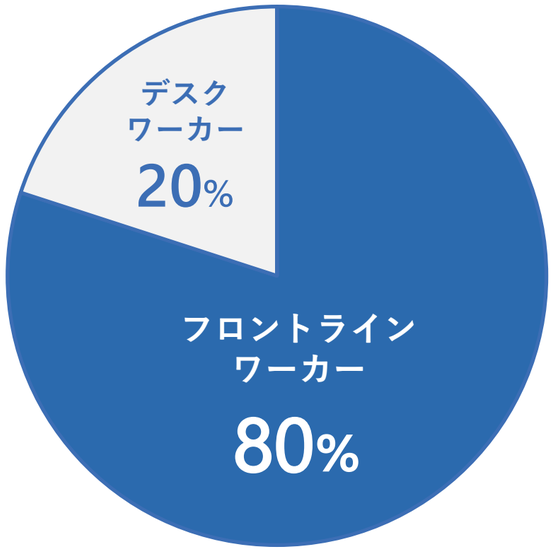
常に変化を続けていくことで成長していきます

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

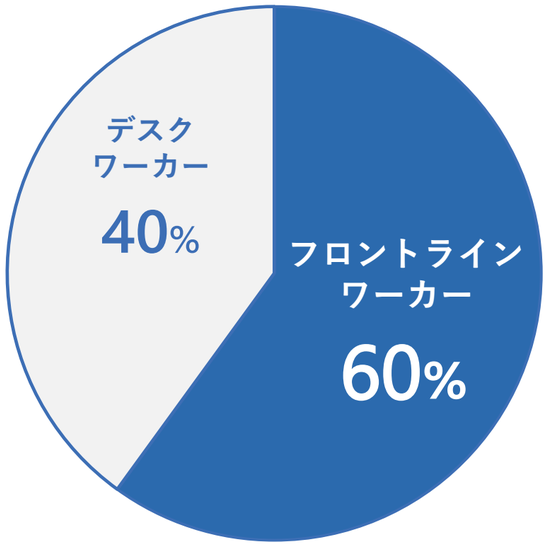
我々がターゲットとするフロントラインワーカーとは

接客や製造ラインなど現場の最前線でお仕事をされている方々

グローバルの労働人口※1



日本の労働人口※2



フロントラインワーカーの人口

国内では…約4,000万人

※1 2020年12月 Emergence Capital 「The State of Technology for the Deskless Workforce」より当社作成
※2 2026年4月 総務省統計局 「2025年度 労働力調査年報」より当社推計

主要顧客業界



小売・接客



公共サービス



製造・建設



航空・鉄道



医療・介護

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

Buddycom（バディコム）について



Science Arts buddycom

フロントラインワーカーをつなげる
現場の音声×AIインフラ

音声（映像）
コミュニケーションツール
出荷金額・社数（ノンデスクワーカー向け）
5年連続シェア
No.1

デロイト トーマツ ミック経済研究所
「デスクレス SaaS 市場の実績と展望 2025年度版」

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

役員の紹介



代表取締役会長
平岡 秀一

1984年　日立西部ソフトウェア㈱
　　（現 ㈱日立ソリューションズ）入社
1996年　マイクロソフト㈱
　　（現 日本マイクロソフト㈱）入社
2001年　㈱インスパイア　取締役
2002年　日本駐車場開発㈱　監査役
2003年　当社設立
　　当社代表取締役社長
2004年　日本駐車場開発㈱　取締役
2025年　当社代表取締役会長（現任）



代表取締役社長
平岡 竜太朗

2017年　㈱ワークスアプリケーションズ　入社
2018年　当社入社　技術部
2022年　当社企画本部長
2024年　当社取締役企画本部長
2025年　当社取締役企画本部長兼第2営業部長
2025年　当社代表取締役社長（現任）



取締役 管理本部長
松田 拓也

2007年　㈱ゼファー　入社
2011年　持田製薬㈱　入社
2014年　㈱デザインワン・ジャパン
　　（現 GMOデザインワン㈱）入社
2016年　同社経理財務部長
2018年　当社入社　管理本部
2019年　当社取締役管理本部長（現任）

社外取締役（監査等委員）

島田 貴子

2019年　当社監査役
2022年　当社取締役（監査等委員）（現任）
主な経歴　㈱アールエイジ　管理本部取締役

中川 浩之

2009年　当社取締役
2022年　当社取締役（監査等委員）（現任）
主な経歴　㈱商船三井　常務取締役、
　　宇徳運輸㈱（現 ㈱宇徳）代表取締役社長

三ツ橋 徹

2016年　当社監査役
2022年　当社取締役（監査等委員）（現任）
主な経歴　三ツ橋司法書士事務所所長（現任）

藤田 友佳子

2025年　当社取締役（監査等委員）（現任）
主な経歴　㈱Tree of Heart 代表取締役社長（現任）
　　㈱PHONE APPLI 執行役員CWO（現任）

※中川浩之氏は、2026年11月26日開催予定の定時株主総会を以て退任を予定しております。

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

Buddycomの開発秘話

Buddycomの始まりは、

創業者・平岡秀一の「父がスマートフォンの操作に苦労しているのをどうにかしたい」という想いでした

父はPCでスムーズにメールを打つことはできたものの、
スマートフォンへと移り行く時代の変化の中で、
メールを打つという簡単な作業でさえも満足に行えませんでした。
その光景を見て、テクノロジーが進化していく一方で、
「なぜ人々の基本的なコミュニケーションがこれほど難しくなったのか？」を
日々考えるようになりました。

誰でも簡単に、ストレスなくコミュニケーションできるツールを作りたい

という身近な人の生活を変えたいという感情が湧きあがったのを今でも覚えています。
ここから私たちの挑戦が始まりました。



Buddycom開発着手当時の様子（2013年）

そして2015年に弊社プロダクト「Buddycom」が誕生し、

リリースから11年が経過した現在

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

サイエンスアーツの転機

SCIENCE ARTS

サイエンスアーツ 1.0 | サイエンスアーツ 2.0 | サイエンスアーツ 3.0

2003 2005 2007 2009 2011 2013 2015 2017 2019 2021 2023 2025 2030

イベント

- 2003/09 創業 — コンサルティング事業
- 2007 事業転換 — データベース事業
- 2011-2012 データベース事業の安定化
- 2014-2015 Buddycomの開発
- 2017-2018 複数社の大手クライアントとの契約
- 2021/11 マザーズ上場 — 2022/4にグロースへ移行
- 2024/10 資本業務提携 — 楽天グループ JVCケンウッド
- 2025- 黒字化

売上推移



従業員数

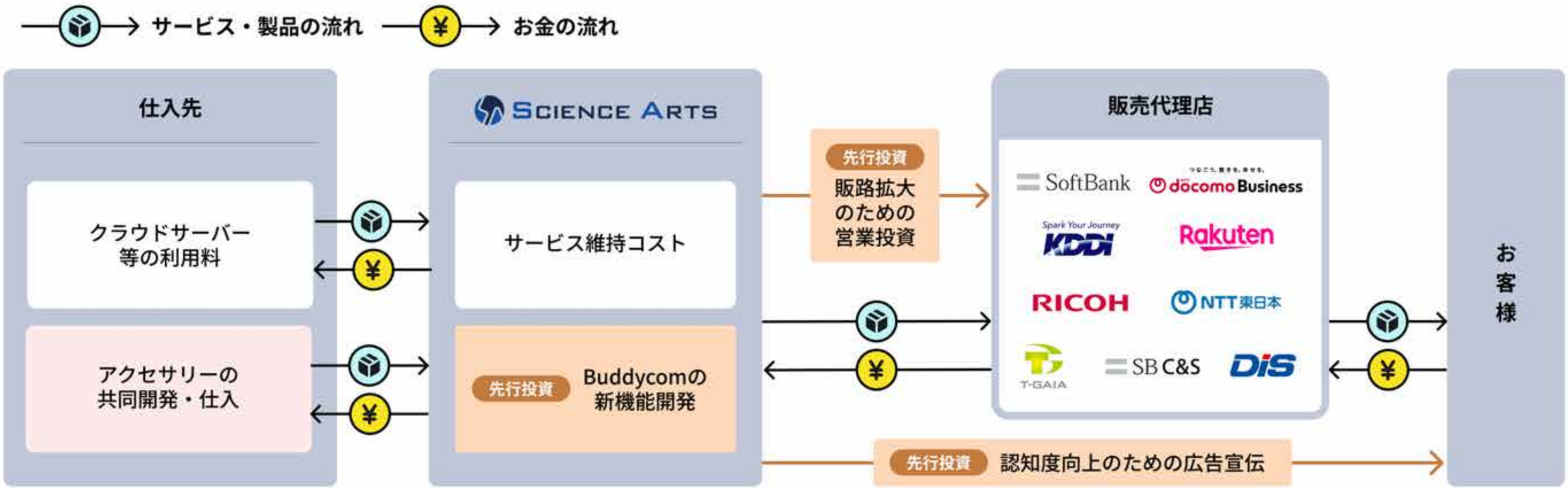
2人~3人 | 5人→14人 | 22人→77人

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

売上成長と利益拡大を両立した要因

● **POINT 1** | ストック収益が損益分岐を超え、利益創出フェーズに

● **POINT 2** | 販売代理店の強力な販売網へ浸透が進み、売上拡大・利益率向上



● **POINT 3** | アクセサリーの共同開発による粗利向上

先行投資 | 先行投資は売上成長率の範囲内で今後も継続

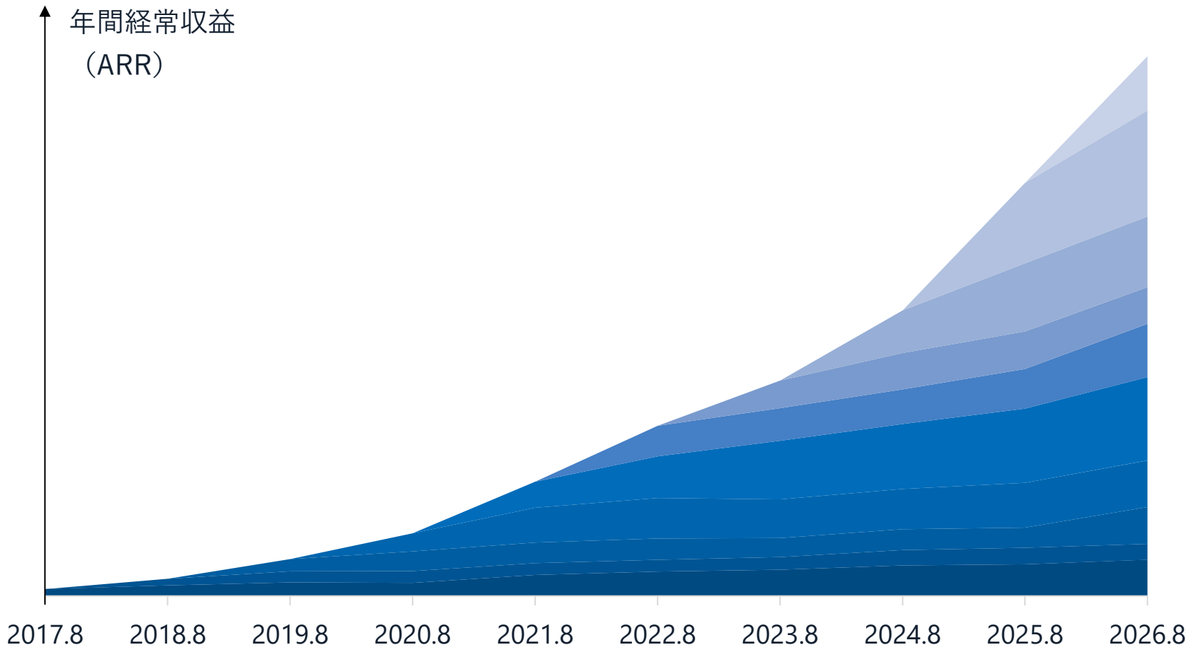
Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

ビジネスモデルの特徴

売上高は大半が年契約で更新されるBuddycomクラウドの利用料と付随するアクセサリーの販売が中心。

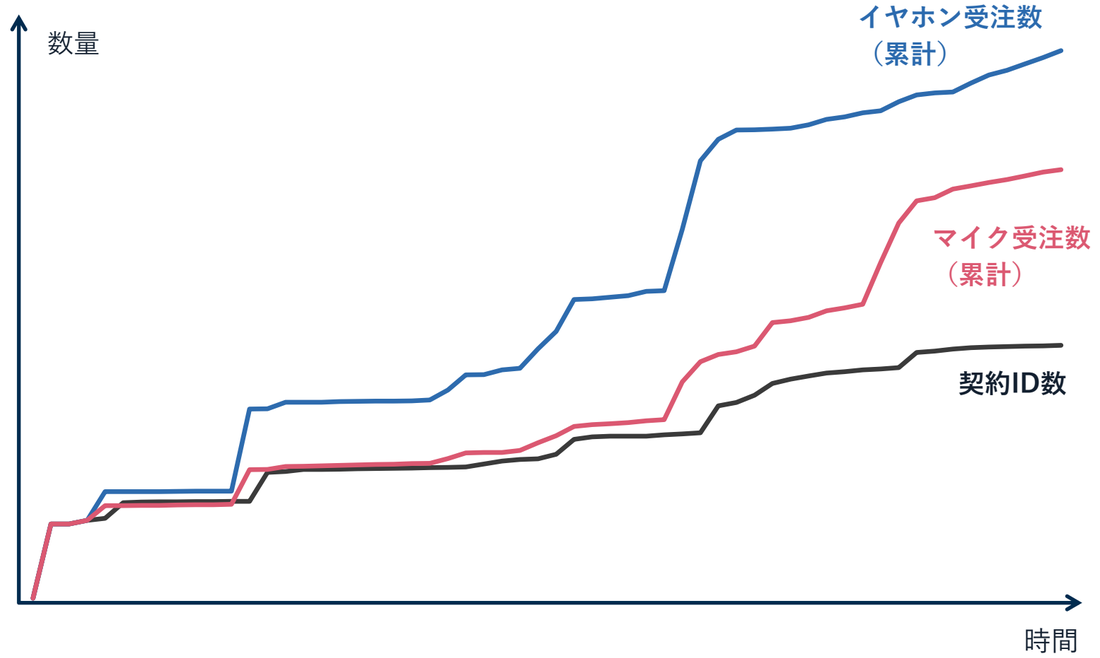
概ねイヤホンは1～3年、マイクは2～5年を目安に定期的な更新/買い替え需要が発生し、数年単位で見ると継続的な収益に。

ソフトウェア



安定収益となるストック型の
サブスクリプション収益

ハードウェア



アクセサリー売上も、機器の更新に伴い
定期的に受注が発生

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

Buddycomの導入実績

1,800社を超える導入企業（順不同・一部掲載）



国内94/99の業種で採用

農業	生産用機械器具製造業	繊維・衣服等卸売業	飲食店
林業	業務用機械器具製造業	飲食料品卸売業	持ち帰り・配達飲食サービス業
漁業	電子部品・デバイス・電子回路製造業	建築材料，鉱物・金属材料等卸売業	洗濯・理容・美容・浴場業
水産養殖業	電気機械器具製造業	機械器具卸売業	その他の生活関連サービス業
鉱業，採石業，砂利採取業	情報通信機械器具製造業	その他の卸売業	娯楽業
総合工事業	輸送用機械器具製造業	各種商品小売業	学校教育
職別工事業	その他の製造業	織物・衣服・身の回り品小売業	その他の教育，学習支援業
設備工事業	電気業	飲食料品小売業	医療業
食料品製造業	ガス業	機械器具小売業	保健衛生
飲料・たばこ・飼料製造業	熱供給業	その他の小売業	社会保険・社会福祉・介護事業
繊維工業	水道業	無店舗小売業	郵便局
木材・木製品製造業	通信業	銀行業	協同組合
家具・装備品製造業	放送業	協同組織金融業	廃棄物処理業
パルプ・紙・紙加工品製造業	情報サービス業	貸金業，クレジットカード業等非預金信用機関	自動車整備業
印刷・同関連業	インターネット附随サービス業	金融商品取引業，商品先物取引業	機械等修理業
化学工業	映像・音声・文字情報制作業	補助的金融業等	職業紹介・労働者派遣業
石油製品・石炭製品製造業	鉄道業	保険業	その他の事業サービス業
プラスチック製品製造業	道路旅客運送業	不動産取引業	政治・経済・文化団体
ゴム製品製造業	道路貨物運送業	不動産賃貸業・管理業	宗教
なめし革・同製品・毛皮製造業	水運業	物品賃貸業	その他のサービス業
窯業・土石製品製造業	航空運輸業	学術・開発研究機関	外国公務
鉄鋼業	倉庫業	専門サービス業	国家公務
非鉄金属製造業	運輸に附帯するサービス業	広告業	地方公務
金属製品製造業	郵便業	技術サービス業	分類不能の産業
はん用機械器具製造業	各種商品卸売業	宿泊業	

※ 総務省 日本標準産業分類（中分類）の業種区分

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

Buddycomの基本機能

アプリケーションをベースとするため、従来の無線機などと比較して機能の開発速度や柔軟性が高い。IP無線アプリを提供する競合他社に対しても、先行して幅広い機能を開発・搭載済み。

プラン※1	Talk Lite	Talk Enterprise	Livecast Enterprise
年（ID当たり）	600円/月	1,200円/月	2,600円/月

※1 表示価格は全て税抜
※2 特許の詳細はP52

音声通話

対応プラン ● ● ●

いつでも隣にいるような
感覚で話せる

- ボタンを押しながら話すだけで、一斉発信
- ユーザー数、グループ数は制限なし
- 電話のように、同時に双方向で会話可能
- 複数グループの会話を同時に受信可能
- 高音質でクリアな音声通話



テキスト化・翻訳

対応プラン ● ●

聞き逃しても、後から確認できる
多国籍な現場でも円滑な連携を可能に

- 話した内容は、同時に録音・文字起こし
- 文字で送った内容は、音声で読み上げ
- 同時に複数の言語に翻訳も可能

国際特許取得※2



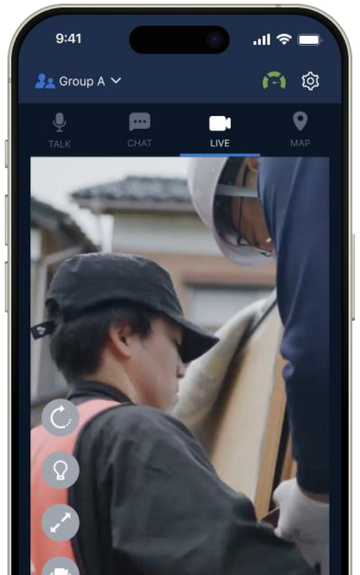
映像配信

対応プラン ●

音声や画像だけでは伝えにくい情報も、
正確に伝達

- 映像をリアルタイムに共有しながら話せる
- 遅延のない映像配信

国際特許取得※2



MAP通話

対応プラン ● ● ●

緊急時に現場に近い人と通話
同じエリア内で情報共有

- ユーザーの位置情報を確認できる
- 指定した範囲内のユーザーと会話できる



Buddycomのオプション機能

フロントラインワーカー同士のコミュニケーションに留まらず、お客様のニーズに応え、
カスタマーハラスメント対策の機能や、一般消費者とフロントラインワーカーもつなげる機能を拡充。

※ 表示価格は全て税抜

セーフティーサポート

500円/ID・月※

- 従業員をカスタマーハラスメントから守る
- 事故発生時に1タップで助けを求められる
- 周辺の音声を自動で文字起こし
- リアルタイムに正確な状況把握と報告を可能に



よびだしベル

1,000円/二次元コード・月※

- Buddycomと連携した、スタッフ呼び出し機能
- 専用の物理ボタンは不要、二次元コードを掲示するだけ
- 二次元コードからブラウザを開き、1タップでスタッフへ通知
- Buddycomのアプリに合成音声とテキストで通知が届く
- 85言語に対応



コール

**2027年8月期の
正式販売を目指す**

- Buddycomで遠隔接客を実現
- 音声・テキストチャット・映像でコミュニケーションが可能、視覚・聴覚障がいにも対応
- 9言語に対応し、リアルタイムに翻訳が可能



Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

競合比較（IP無線アプリ）

	Buddycom	米国 Z社	米国 M社	国産 N社	国産 B社
IP無線機	○	—	—	—	—
音声通話	○	○	○	○	○
映像配信	○	—	—	○	○
テキスト化	○	○	—	—	○
翻 訳	○	○	—	—	△
MAP通話	○	—	—	—	—
A I	○	○	—	—	—

プロダクトの差別化を図り、

シェアNo.1 を獲得

今後も研究開発を進め、
更なる差別化を図ってまいります。

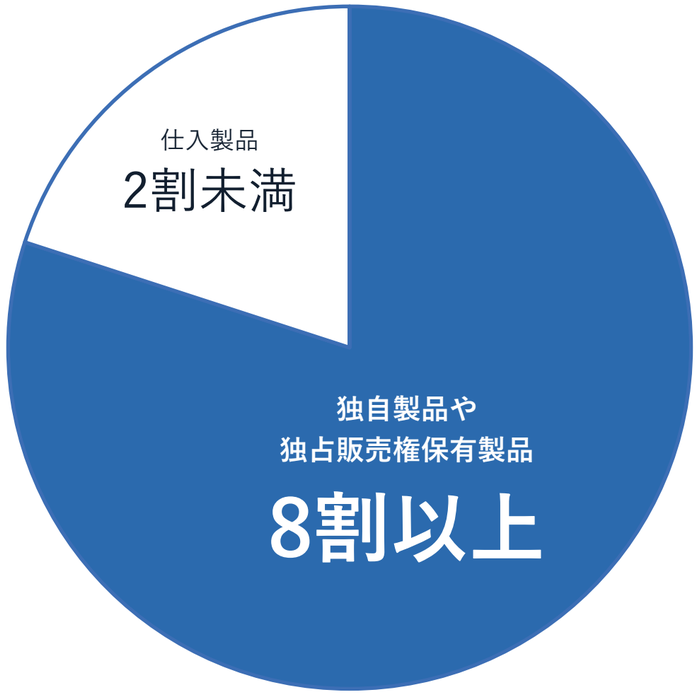


デロイト トーマツ ミック経済研究所
「デスクレス SaaS 市場の実績と展望 2025年度版」

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

Buddycomのハードウェア

幅広いラインナップから、現場のニーズに応じたハードウェアを提供。
出資先との共同開発による独自製品など、付加価値の高い独占販売製品が8割以上を占める。



アクセサリー売上の8割以上を
付加価値の高い製品が占める

顧客との対話を通じて

最適なデバイスを仕入・開発し提供



製造・建設

過酷な現場で使える
防水・防塵・MIL規格準拠。
世界トップクラスの
スピーカーマイク。





流通・接客

連続15時間利用可。
イヤホンの交換が可能で
衛生や耳への負担を
考慮したイヤホンマイク。





宿泊・飲食

接客の現場で
見た目を考慮した
ヘッドセット。





医療・介護

耳を塞がずに高音質を実現
し、蒸れにくく衛生的。
周囲の音も業務連絡も
聞き逃さない
軟骨伝導ヘッドセット。



Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

現場に無線が必要な理由







音声

常時接続

一斉通話



Science Arts buddycom なら

- スマホを見ずに聞ける・話せる
- ボタンを押すだけですぐつながる
- 全員に同時に届く

コミュニケーションにかかる時間

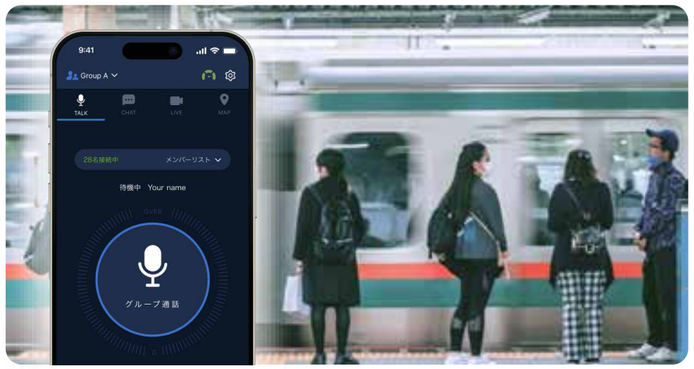
月17.6時間/人 削減※

約16%減

※ Buddycom＋当社周辺機器導入企業の社内調査資料に基づく（107.3時間/月・人 → 89.7時間/月・人）

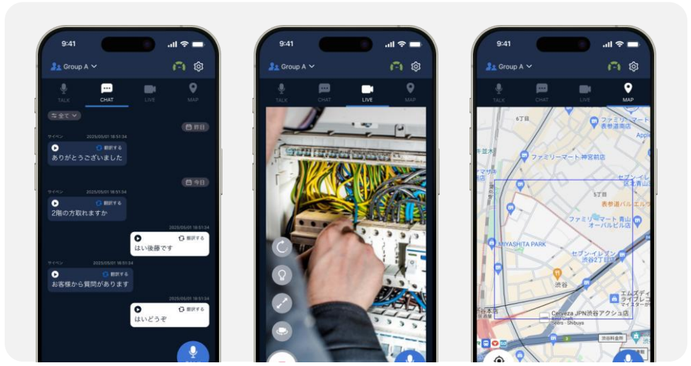
Buddycomがお客様に選ばれる理由

1 止まらない信頼性と大規模運用の実績



- 鉄道現場では、**列車・駅の編成単位**でグループを作成。**全ての乗務員・駅員・指令**が参加して利用。
- 365日動く**ミッションクリティカルな現場**で使われている。

2 圧倒的な開発スピードと競合優位性



- 音声テキスト化やトランシーバー翻訳、ライブキャストなど複数の**主要機能で特許を取得済み**。
- 現場の機能要望を直接吸い上げることで、お客様に最適なプロダクト開発。

3 現場専用のハードウェアを展開

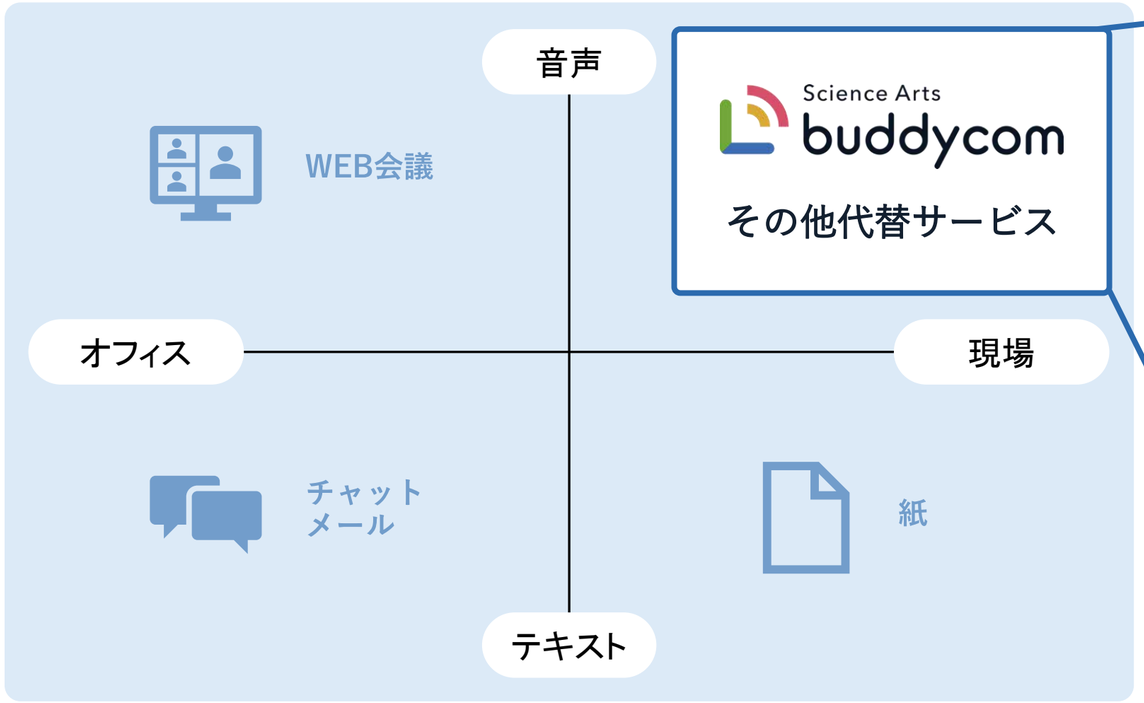


- PTT対応や、現場環境に耐えられる高い耐久性、十分なバッテリーなどを兼ね備えた**現場専用の周辺機器**を開発。
- どんな現場でも取りこぼさない、複数のラインナップを展開。

※特許の詳細はP52をご参照ください

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

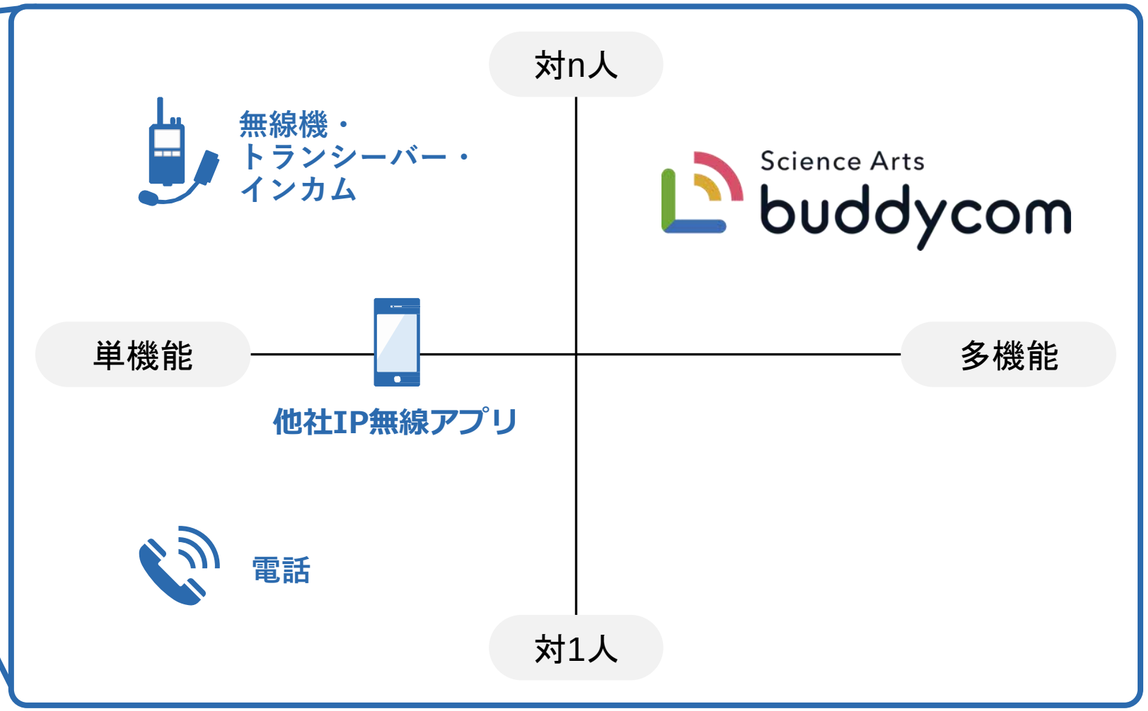
現場×音声のユニークなポジション



従来のデスクワーカー向けサービス　テキスト入力やミーティングのセットが必要

Science Arts buddycom

- ✓ 音声だから、スマホを開かなくても、確認・連絡できる
- ✓ 常時接続だから、すぐに話せる
- ✓ シンプルだから、かんたんに使える



従来のデスクワーカー向けサービス　音声だけの単機能であったり、人数やエリアの制限がある

Science Arts buddycom

- ✓ テキスト化や翻訳、映像配信など機能が充実
- ✓ 人数やエリアの制限なし
- ✓ 初期費用なし、免許も不要

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

大手代理店にお取り扱い・販売協力いただけている要因

新たなスマホ市場の開拓

国内スマホ市場は飽和状態だが、
フロントラインワーカーでの法人スマホ普及はこれから。

代理店で取り扱う価値

- SIM販売のドアノックツール
- 顧客単価の向上施策

安心して顧客に紹介できる高い実績と信頼性

- 多数の大手への販売実績
- 低い解約率

代理店が安心して提案できる

国内販売代理店が全面的に販売協力

SoftBank / docomo Business / KDDI (Tomorrow, Together) / Rakuten / RICOH / NTT東日本 / SB C&S / DIS

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

技術が進むほど、Buddycomの価値が上がる

音声AI

常に繋がっているBuddycomが
AIの入出力になる

大手小売企業での
AIへの質問数
約4万回/月



衛星通信

どこでもつながるBuddycomに。
災害対策として導入が進む

災害時の
通信途絶リスク に備え
海老名市消防本部で導入

デバイス

スマートフォン以外のデバイスでも
Buddycomを使えるように

AI無線機のARR
（発売から3ヶ月間）
約1,689万円



Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

市場の天井は、無線機の台数ではない

現在地

Buddycom ARR

13.9億円



国内の潜在市場※（想定ARR）

大多数のお客様は無線機のリプレースでなく、
新規ツールとしてBuddycomを導入

約1,900億円

＋

グローバル潜在市場※

フロントラインワーカー
人口から試算

約13.2兆円

AI機能、遠隔接客市場向け機能、セキュリティ市場向けBuddycomで

さらに市場を拡大

※ 想定潜在ARR：当社の現在のID単価をベースに、各市場の潜在ID数から当社推計。
デスクレスワーカー人口は総務省「労働力調査基本集計 全都道府県年度次」、ILO「Population and labour force」による。

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

使うほど価値が積み上がり、解約されにくい

月次解約率※1

0.46%

目安の1%を大きく下回る

NRR ※2

117.5%

既存顧客だけで売上が伸びる

解約率とNRRを実現している4つの特徴

1. **業務に定着する**
   毎日、部門/拠点/会社を横断して全員が使う
2. **ハードと一体**
   アクセサリー売上の8割以上が独自・独占販売製品
3. **データが蓄積**
   日々の現場における非構造データが蓄積される
4. **用途が拡張**
   他部署への展開、テキスト化/翻訳/映像配信/遠隔接客などの活用

※1 月次解約率： 2026年8月期の12か月における平均月次解約率を表記。
※2 NRR：Net Revenue Retentionの略称。既存顧客の売上継続率。「前期までに獲得した顧客の当期末月のストック売上÷前期末月のストック売上」で算出。

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

02

成長戦略

SCIENCE ARTS

2030年8月期の目標値を上方修正



2030年8月期の目標

売上高	60億円 ← 50億円
営業利益	18億円 ← 10億円
営業利益率	30% ← 20%
ROE	30% ← 未設定

※M&A、海外進出は除く

● 修正理由

業績が順調に推移してきていることに加え、AI無線機、AI機能、セキュリティ市場向けBuddycomなど新機能・サービスの収益貢献が見えてきたため。

● 2028年8月期以降の見通し

2027年8月期は、一時費用である本社移転関連費用1億円により営業利益の伸びは鈍化するものの、その後は2030年8月期の目標達成に向け、売上利益ともに一定程度の割合で成長。なお、先行投資を含む販管費は売上成長率の範囲内で今後も継続する計画。

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

新機能・新サービスの実績が出始める

SCIENCE ARTS

IDの獲得

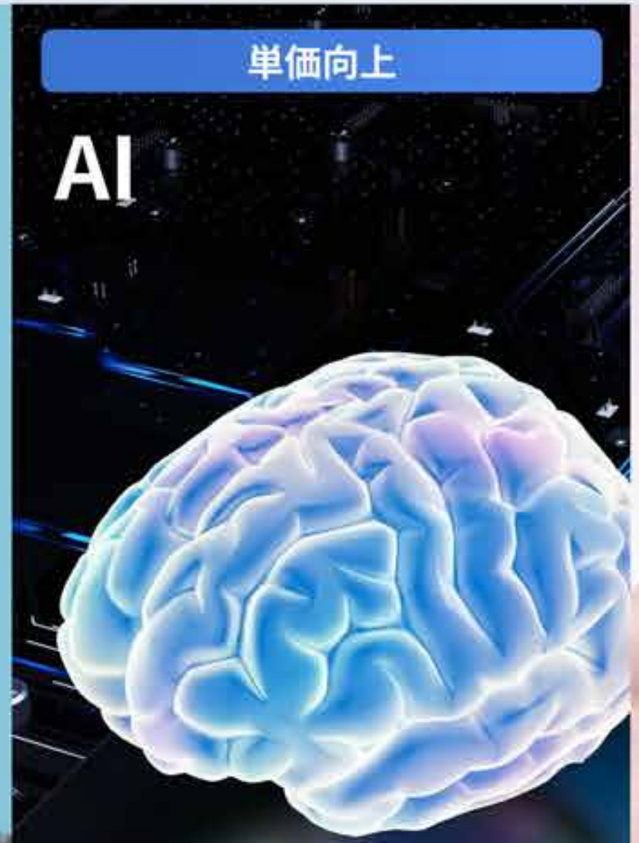
セキュリティ市場向け(オンプレミス)



売上高
600万円

単価向上

AI



ARR
1,940万円

IDの獲得

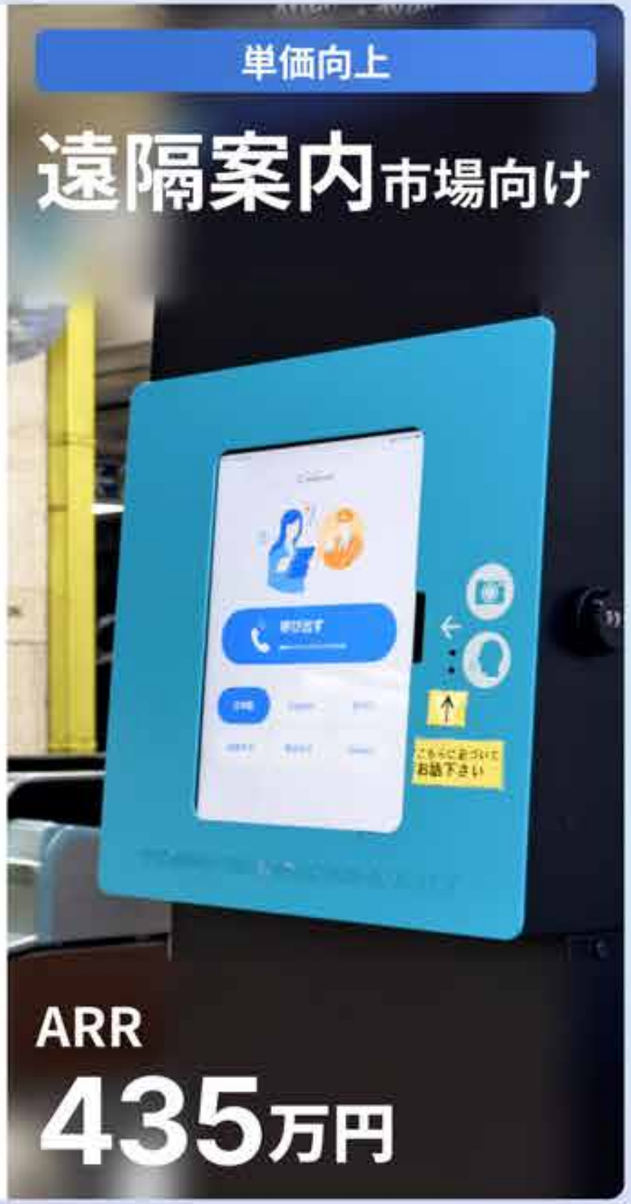
AI無線機



発売から3か月でARR
1,689万円

単価向上

遠隔案内市場向け



ARR
435万円

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

AI機能で大口受注を獲得

AIプランの正式リリースに先駆けて、既存顧客にてAI機能の有償利用を開始

分からないことをマニュアルで探したり、先輩や上司に聞かなくても、AIが膨大なマニュアルを参照して回答してくれる

導入企業
大手小売企業

導入範囲
全店舗の従業員、コールセンター

利用状況
日々の業務で継続的に利用中

AIへの質問数
約4万回/月※

登録されている現場FAQ
3,400件



質問の例

- この付属品、単品だといくら？
- この手続きはどの画面からできる？
- この商品は割引の対象？
- あの社内資料はどこにある？

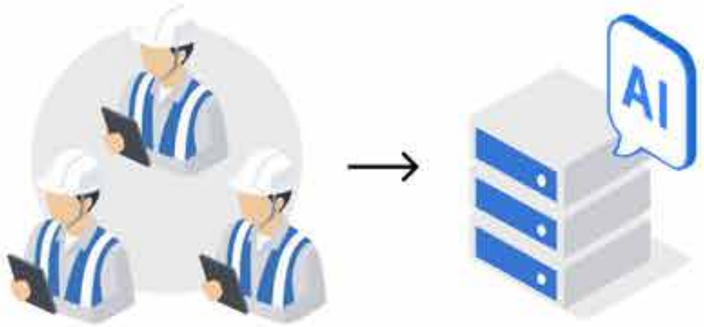
※ 2026年8月実績

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

Buddycomだから現場に強いAIになる

SCIENCE ARTS

強み01 現場の音声データ



マニュアルにも載っていない
現場の会話・ノウハウをAIが学習できる

Before

先輩や上司に質問する、アドバイスをもらう

After

- AIが社内マニュアルや**現場で過去に質問・回答しているログ**を参照して回答
- 接客中の会話をAIに聞いてもらって、**AIにアドバイスをもらう**

強み02 特別な操作なしにAIを活用できる



現場でBuddycomを使うだけで
AIが裏で仕事を進めてくれる

Before

- 日中　：Buddycomで業務連絡
- 終業前：ログを確認して、報告書を作成

After

- 日中　：Buddycomで業務連絡
- 終業前：AIがログから**自動要約・報告書作成**

強み03 AIがいつでも話しかけられる



常に身につけているイヤホンから
AIがいつでも音声で支援してくれる

Before

経験不足でリスクやヒヤリハットを見逃してしまう

After

AIが危険を検知して、
関係者に対応の呼びかけをする

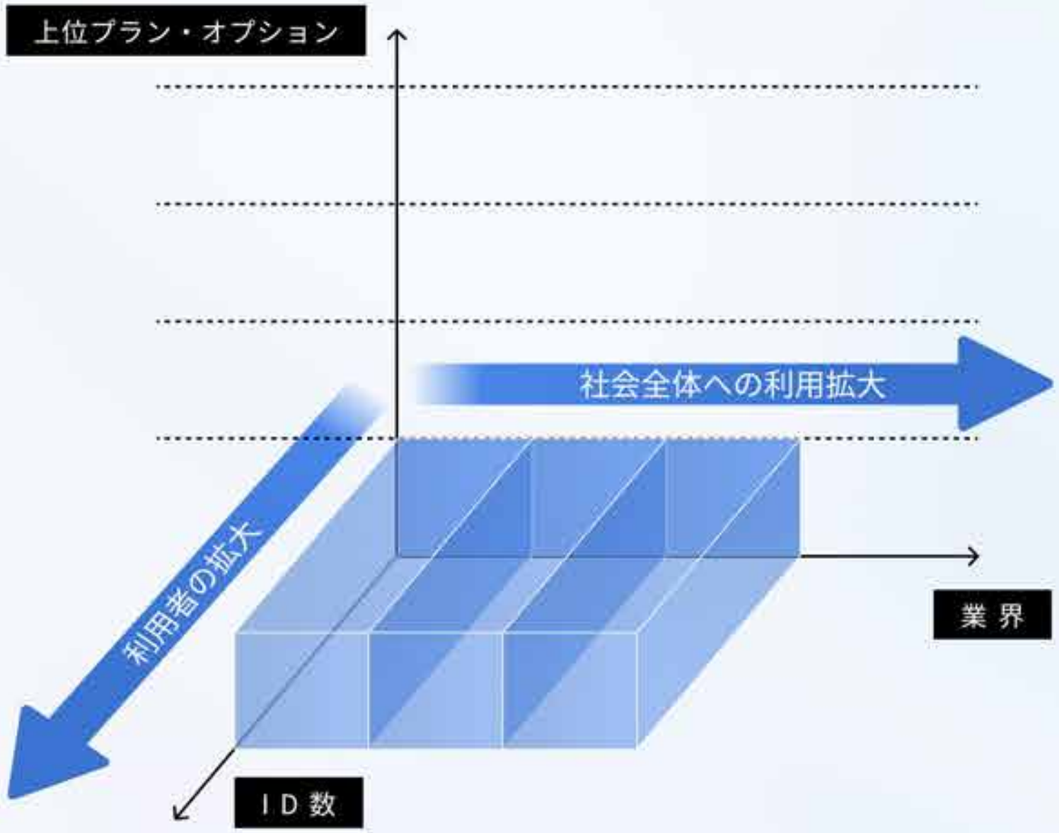
Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved

Buddycom AIで単価向上

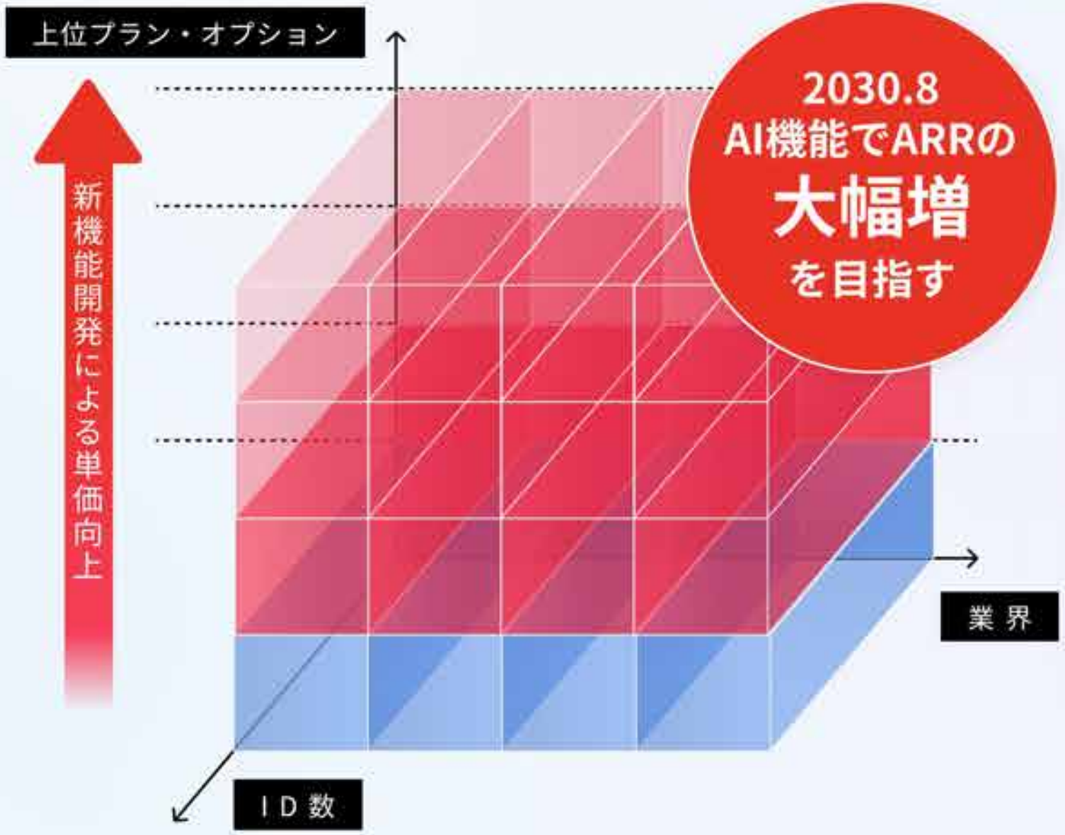
AI機能の活用には音声テキスト化が必須

AI機能によって単価向上を進める

これまで：新規顧客獲得によるID数増を優先



これから：ID数増とID単価向上の両立を目指す



Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

JVCケンウッドとAI無線機を共同開発

SCIENCE ARTS

両社の強みを活かした
現場のための**AI無線機**をJVCケンウッドと共同開発

JVCKENWOOD

堅牢性
信頼性

×

Science Arts buddycom

多機能
大規模運用



- 従来の無線機との違い

トランシーバー翻訳機能（27言語）	AI機能	IP無線アプリ（Buddycom）との連携

KENWOODモデル KBX-P51	2026年6月末から販売中
サイエンスアーツモデル KBX-P51SA	発売目標 2027年8月期 第3四半期

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

セキュリティ市場向けBuddycom（Buddycom オンプレミス）

求められる理由

1 ページング・構内PHSの更新
プラントなどで利用されてきた既存システムのリプレース需要を狙う

2 事業継続（BCP）
通信の断絶が許されない危険物取扱現場では、公衆網に加え
プライベートLTEやローカル5Gなどの自営網による冗長化の需要がある

3 セキュリティ・データ主権
データをクラウドに置かず、自社で管理したいというニーズに応える

収益モデル

ライセンス	フロー収益
サポート	ストック収益 ARRに内数で表示

国際電気とのパートナーシップにより、製造・電力・ガス業界の開拓を進める

ターゲット業界

高いセキュリティが求められ、
構内PHSを利用していた業界



Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

社内だけでなく、消費者ともつながるBuddycom

SCIENCE ARTS

新製品 Buddycom コール/ベル を提供

遠隔案内市場 へ参入！

駅や店舗での遠隔接客を可能にし、
限られた人員で迅速なお客様対応を実現します。

想定される現場


駅


店舗


空港


受付

2028年3月末までに
全171駅※
東京メトロの改札口へ
コール機能を順次導入予定
※他社への管理委託駅は除く。



Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

実際の現場でご活用いただき、公共での導入が広がる

SCIENCE ARTS

01 実証で評価

2023年10月
総務省 災害対策用の実証アプリケーションに採択

2024年6月
消防庁で実証検証

2025年9月
内閣府主催DMAT訓練で実証試験

02 令和６年能登半島地震で Buddycomを利用



03 市役所・消防の インフラとして導入が広がる

2026年9月
名古屋市が防災・災害対応のために
Buddycom 約1,000ID 導入





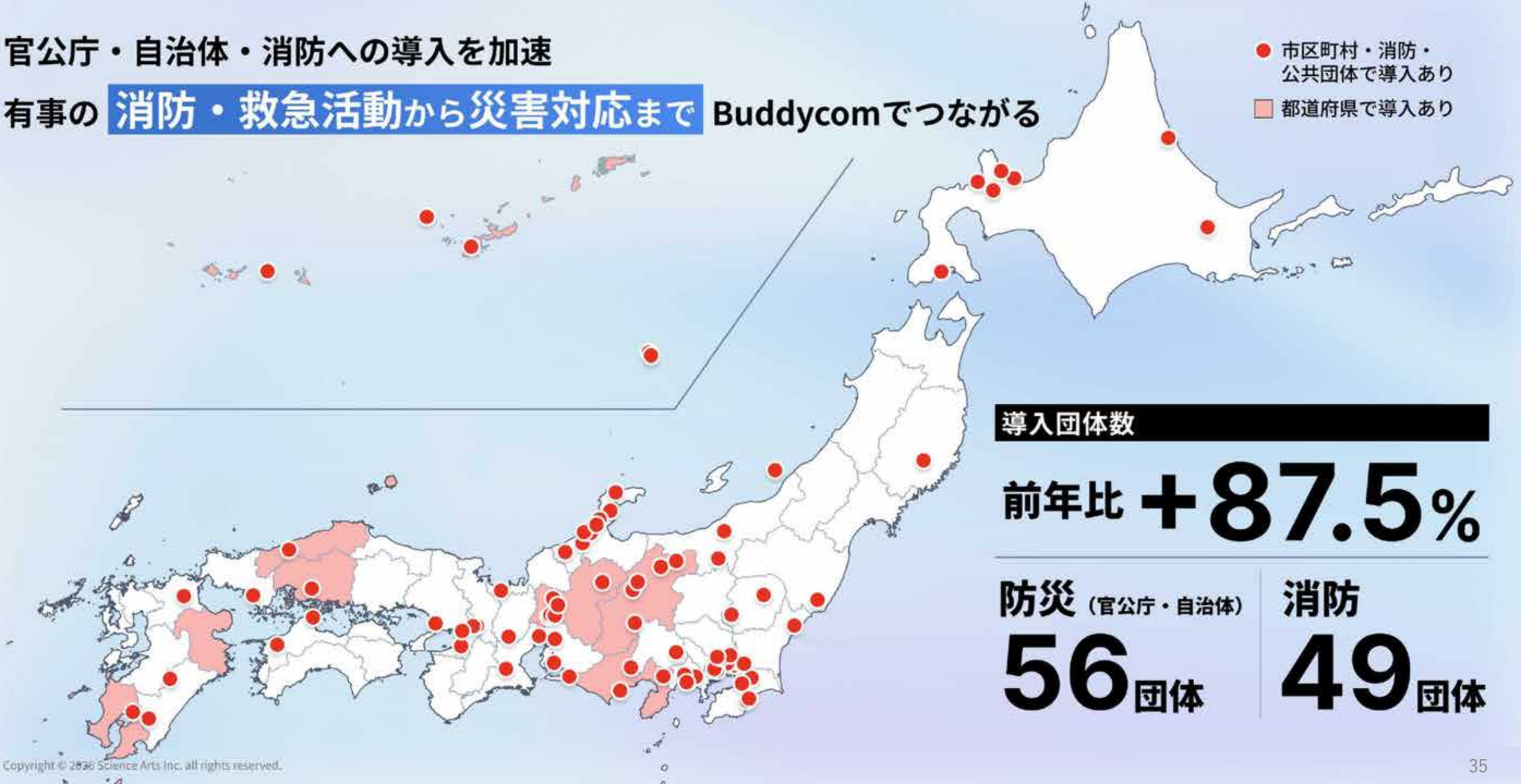
Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

Buddycomは公共インフラの基盤に

SCIENCE ARTS

官公庁・自治体・消防への導入を加速

有事の 消防・救急活動から災害対応まで Buddycomでつながる



導入団体数

前年比 +87.5%

防災（官公庁・自治体）
56団体

消防
49団体

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

中長期的にはグローバル展開を目指す

SCIENCE ARTS

日本で磨いた現場力を、世界へ

北米
North America

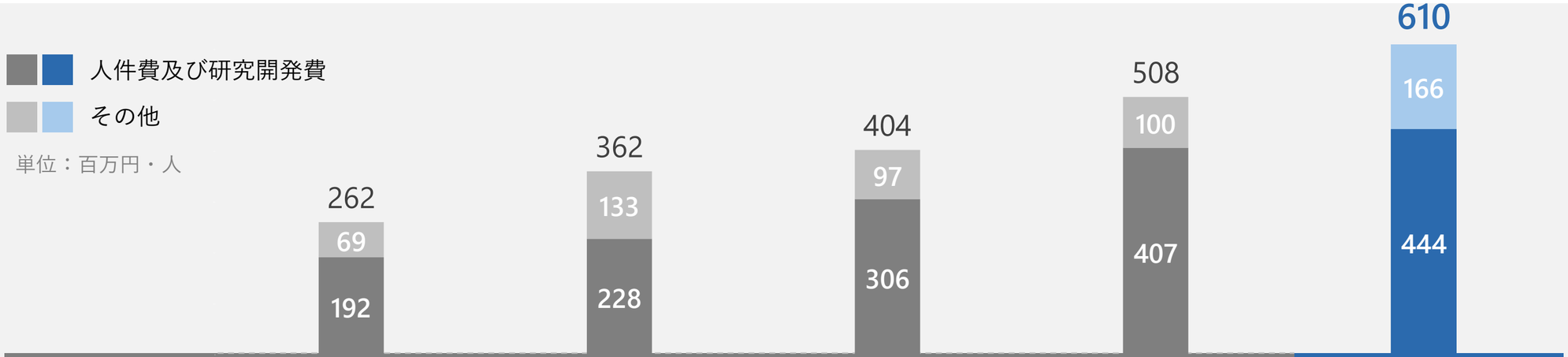
アジア
ASEAN / India

中東
Middle East

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved

先行投資及び考え方

サブスクリプション型の収益モデルであり、早急な年間経常収益（ARR）拡大を優先。新規顧客の獲得及び既存顧客の収益拡大のために販売代理店を支援する営業人員と、魅力的なプロダクトを提供し続けるための開発人件費に先行投資。
FY2026は計画通り採用することができ、508百万円（計画比4百万円増）となりました。



	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期	2027年8月期(計画)
開発人員数	14	21	28	33	39
営業人員数	20	23	27	37	43
その他	5	6	7	7	9
従業員数計	**39**	**50**	**62**	**77**	92
前年比	**+34.5%**	**+28.2%**	**+24.0%**	**+24.2%**	+19.5%

市場シェア獲得による売上成長を目的とした、人件費・研究開発費で先行投資を強化

先行投資は売上増加幅の範囲内で今後も継続

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

調達資金使途について

IPOで調達した資金は先行投資に全額充当済。

2024年11月の第三者割当増資を通じて得た資金については資本業務提携に伴う営業・開発投資に充当予定。

対象	内容	調達資金（充当額）	2025年8月期	2026年8月期	2027年8月期	2028年8月期
①営業関連費用	楽天及びJVCケンウッドとの資本業務提携に伴うBuddycomの販売加速に向けた販売促進費用、人材獲得及び育成に関する費用を想定	308 (29)	→	→	→	→
②開発関連費用	楽天との協業を通したAI活用及びJVCケンウッドとのIP無線機の共同開発に伴う開発関連費用、サーバーやインターネット等設備増強費用、人材獲得及び育成に関する費用を想定	318 (29)	→	→	→	→
③オフィス移転費用等	①及び②の結果、2028年8月期までの従業員の採用数が約30名増加する見込みであるため本社オフィスの移転を予定	142 (119)		→	→	→
	計	768 (177)				

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

03

業績とKPI

SCIENCE ARTS

2026年8月期通期決算（10/15）

SCIENCE ARTS

2026年8月期 実績

売上高

計画通り

21.3億円 / 修正計画 21.3億円

前年比 +29.0%

営業利益

上振れ

2.6億円 / 修正計画 2.2億円

営業利益率 12.3%
前年比 +144.3%

2027年8月期 計画

売上高

27.7億円

前年比 +30.0%

営業利益

3.1億円

営業利益率 11.3%
前年比 +20.0%

2027年8月期は一時費用として、販管費に**本社移転関連費用 1億円**を見込む

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved

2027年８月期計画

Buddycomクラウドの成長を継続した上で、新機能・新サービスを新たな成長の柱へ育てる。
2027年8月期は2027年4月の本社移転に伴う一時費用100百万円で営業利益率は停滞するものの、2028年8月期以降は大きく向上の見込み。

単位：百万円

PL	2025.8	2026.8	2027.8 計画
売上高	1,654	2,134	2,775
前年比	+39.7%	+29.0%	+30.0%
ストック収益※1	910	1,215	1,613
前年比	+38.0%	+33.5%	+32.8%
フロー収益※2	744	918	1,161
前年比	+41.7%	+23.4%	+26.4%
売上原価	644	784	998
売上総利益	1,009	1,349	1,776
売上総利益率	61.0%	63.2%	64.0%
販管費	902	1,087	1,462
前年比	+27.3%	+20.5%	+34.5%
営業利益	107	262	314
営業利益率	6.5%	12.3%	11.3%
経常利益	92	262	315
当期純利益	112	254	257

重要指標	2025年8月期	2026年8月期	2027年8月期 計画
年間経常収益・ARR※3(百万円)	1,068(-)	1,392(1)	1,806(18)
前年比	+44.6%	+30.3%	+29.7%
従業員数(人)	62	77	92
前年比	+24.0%	+24.2%	+19.5%

2027年8月期の見通し

売上高

- Buddycomクラウドは30%成長を維持し、1,580百万円
- アクセサリーは前期並みの伸び率となる1,116百万円
- 新機能・新サービスは78百万円

販管費

- 増員率は抑えつつ、先行投資として、開発と営業人員の拡充を継続
- 人員の増加に伴い、人件費及び採用費で140百万円増加
- 本社移転に伴う一時費用（加速償却、二重家賃等）として100百万円を見込む

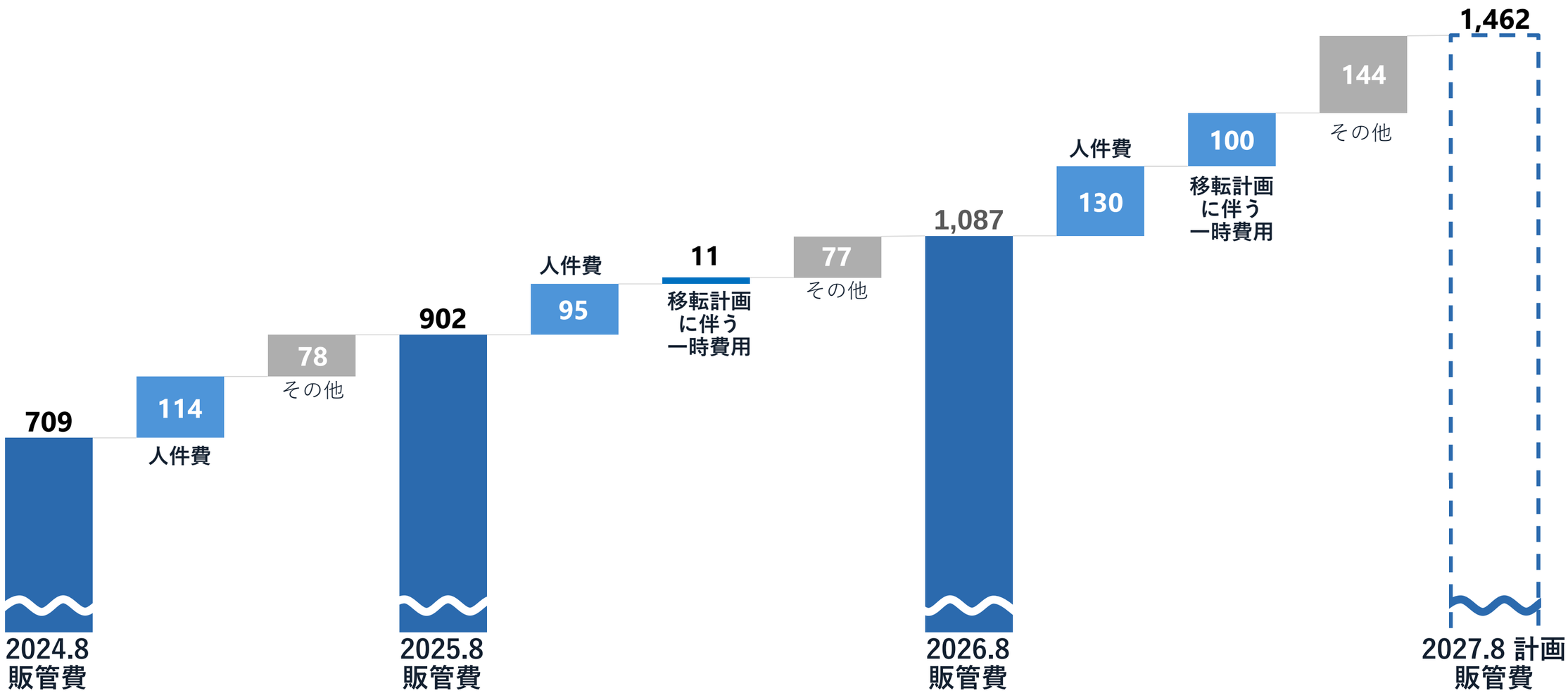
※1 ストック収益：Buddycomのクラウド利用料（AI無線機、AIプラン含む）、Buddycomオンプレミスのサポート料、運用代行サポート料
※2 フロー収益：アクセサリー、Buddycomオンプレミスのライセンス料、導入支援サポート料
※3 年間経常収益：各期末月におけるストック収益を12倍にして算出。()内はサポート料に係るARRの内数。

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

販売費及び一般管理費

先行投資として、開発と営業人員の採用を強化しており、増員数と人件費の前年同期比はそれぞれ15名、22.9%増。
また、2027年4月に予定している移転計画に伴い、一時費用（現オフィスの内装工事費等の加速償却、二重家賃等）として計100百万円を計上見込み。

単位：百万円



Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

損益計算書（四半期別）

単位：百万円

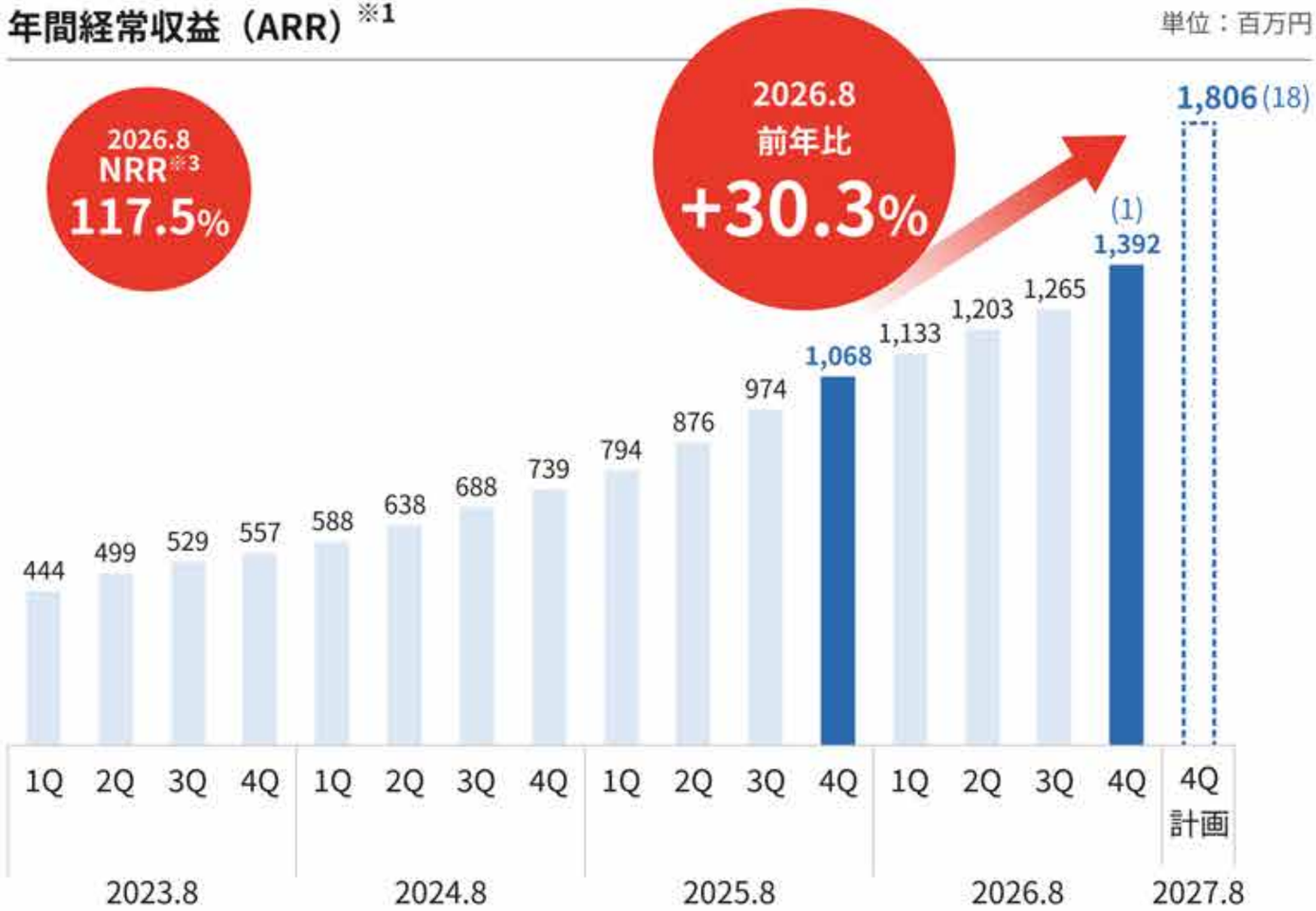
	2024.8				2025.8				2026.8				2026.8 4Q	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前四半期比	前年同期比
売上高	**304**	**255**	**319**	**305**	**340**	**388**	**430**	**494**	**515**	**512**	**536**	**569**	**+6.1%**	**+15.2%**
ストック収益	**145**	**158**	**175**	**180**	**195**	**215**	**237**	**261**	**277**	**295**	**310**	**332**	**+7.2%**	**+27.1%**
フロー収益	**158**	**96**	**144**	**125**	**145**	**172**	**193**	**232**	**237**	**217**	**226**	**237**	**+4.5%**	**+1.8%**
売上原価	167	101	123	114	131	152	159	201	193	190	201	199	-0.9%	-1.0%
売上総利益	137	153	195	191	209	235	271	293	321	322	335	370	+10.3%	+26.2%
売上総利益率	45.0%	60.3%	61.2%	62.7%	61.5%	60.6%	63.0%	59.3%	62.4%	62.8%	62.5%	65.0%	+2.5pt	+5.7pt
販管費	157	148	215	187	201	211	246	243	264	273	291	257	-11.6%	+5.8%
営業利益又は営業損失	**-20**	**5**	**-20**	**4**	**8**	**23**	**24**	**49**	**56**	**48**	**44**	**112**	**+154.5%**	**+125.6%**
営業利益又は営業損失率	**-6.7%**	**2.0%**	**-6.3%**	**1.4%**	**2.5%**	**6.1%**	**5.8%**	**10.1%**	**11.0%**	**9.4%**	**8.3%**	**19.8%**	**+11.5pt**	**+9.7pt**
経常利益又は経常損失	-20	3	-20	3	-6	23	24	50	54	48	44	115	+160.8%	+126.2%
当期純利益又は当期純損失	-20	4	-20	4	-5	20	19	78	47	39	38	129	+235.7%	+65.4%

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

Buddycomの重要指標

2026年8月期では製造・公共で大きく伸びたほか、4QではAIプランが大きく寄与。
解約率は中小企業の売上構成比の上昇にあわせて上昇傾向であるものの、目安となる1%を大きく下回って推移。

年間経常収益（ARR）※1



月次解約率※2



※1 年間経常収益：各四半期末月におけるストック収益を12倍にして算出。( )内はサポート料に係るARRの内数。
※2 月次解約率：対象四半期の直近12か月における平均月次解約率を表記。
※3 NRR：Net Revenue Retentionの略称。既存顧客の売上継続率。「前期までに獲得した顧客の当期末月のストック売上÷前期末月のストック売上」で算出。

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

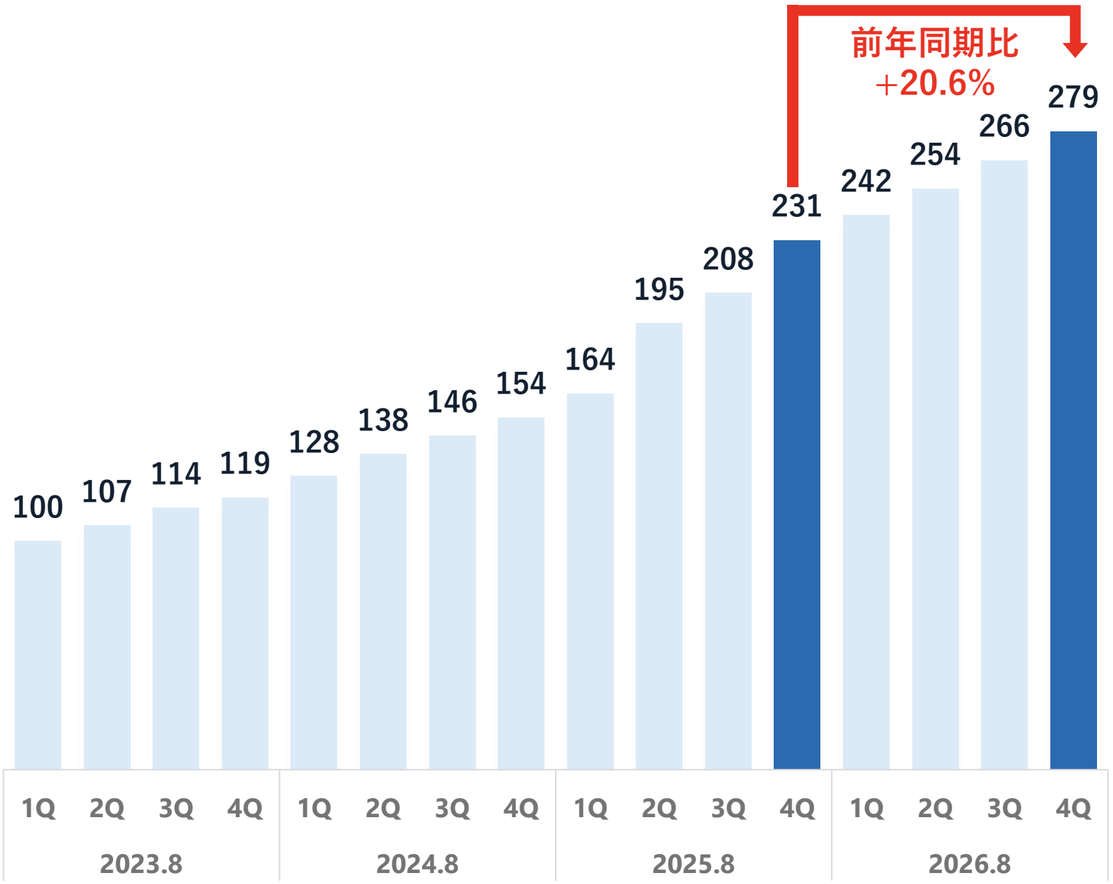
KPI

BuddycomクラウドのID数、ID単価

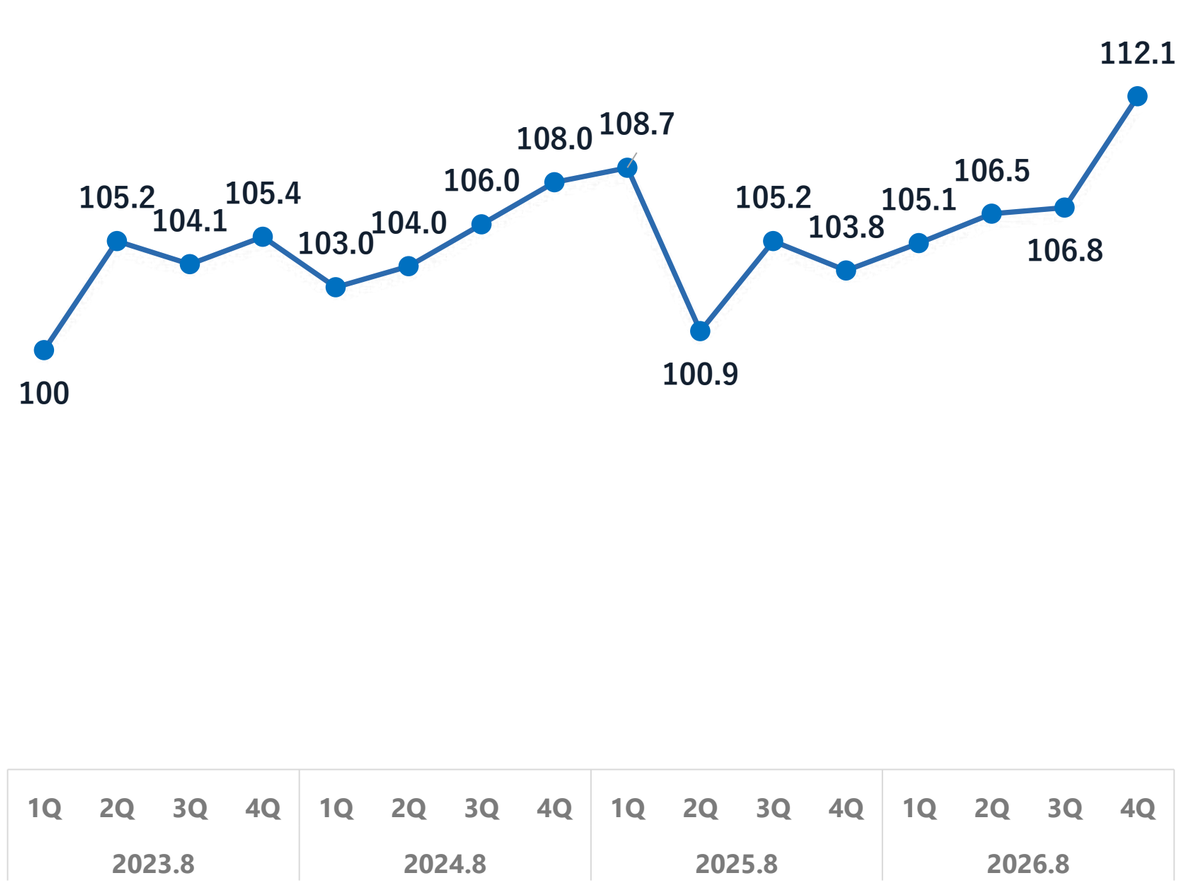
ID数は医療・介護や運輸、小売での受注が進み増加。

ID単価は製造や運輸、公共での上位プラン受注、小売でのAIプランの受注により向上。

ID数※



ID単価※



※ ID数・ID単価：FY2023 1QのID数、単価を100とした場合における、各期の単価推移を表記。

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

KPI

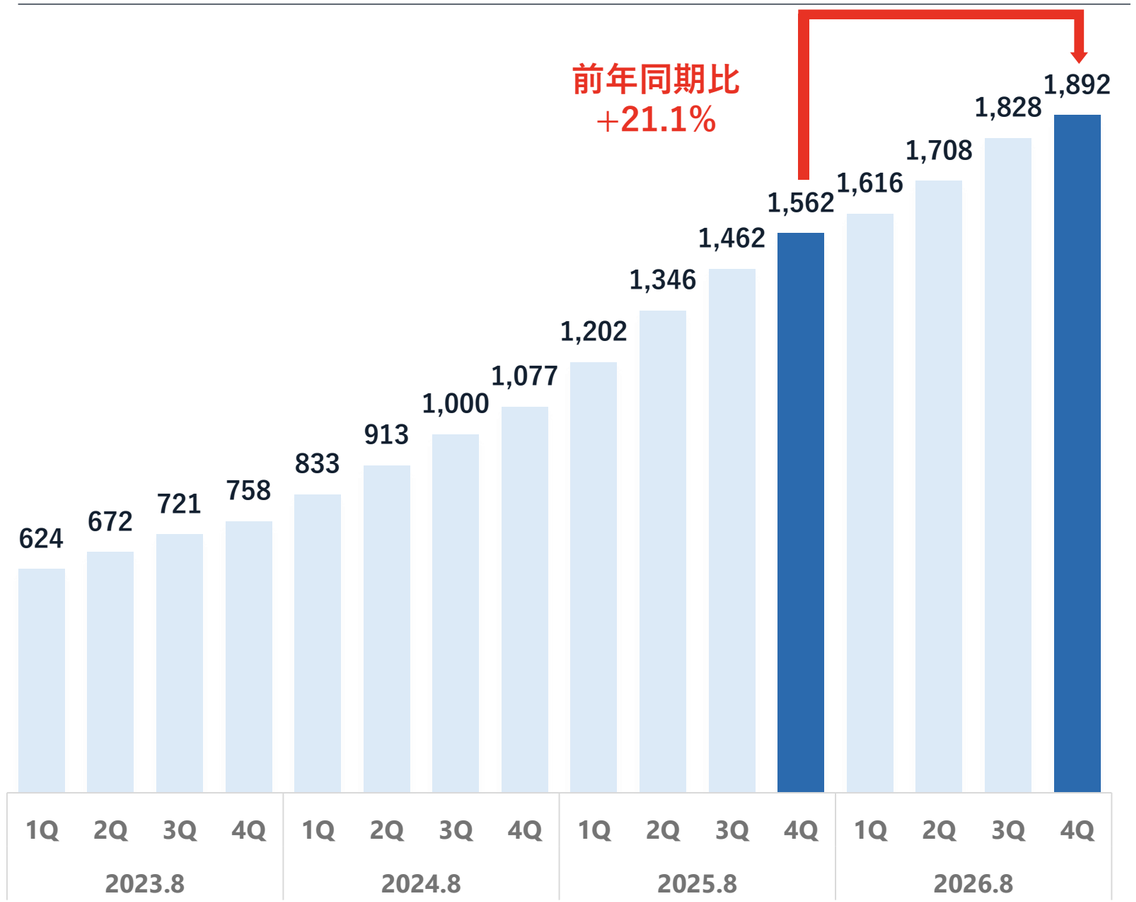
Buddycomクラウドの契約社数、契約単価

契約社数は医療・介護を中心に幅広い業界で受注が進み増加。

契約単価は製造や小売、運輸の既存顧客における追加ID、上位プラン、AIプランの受注により増加。

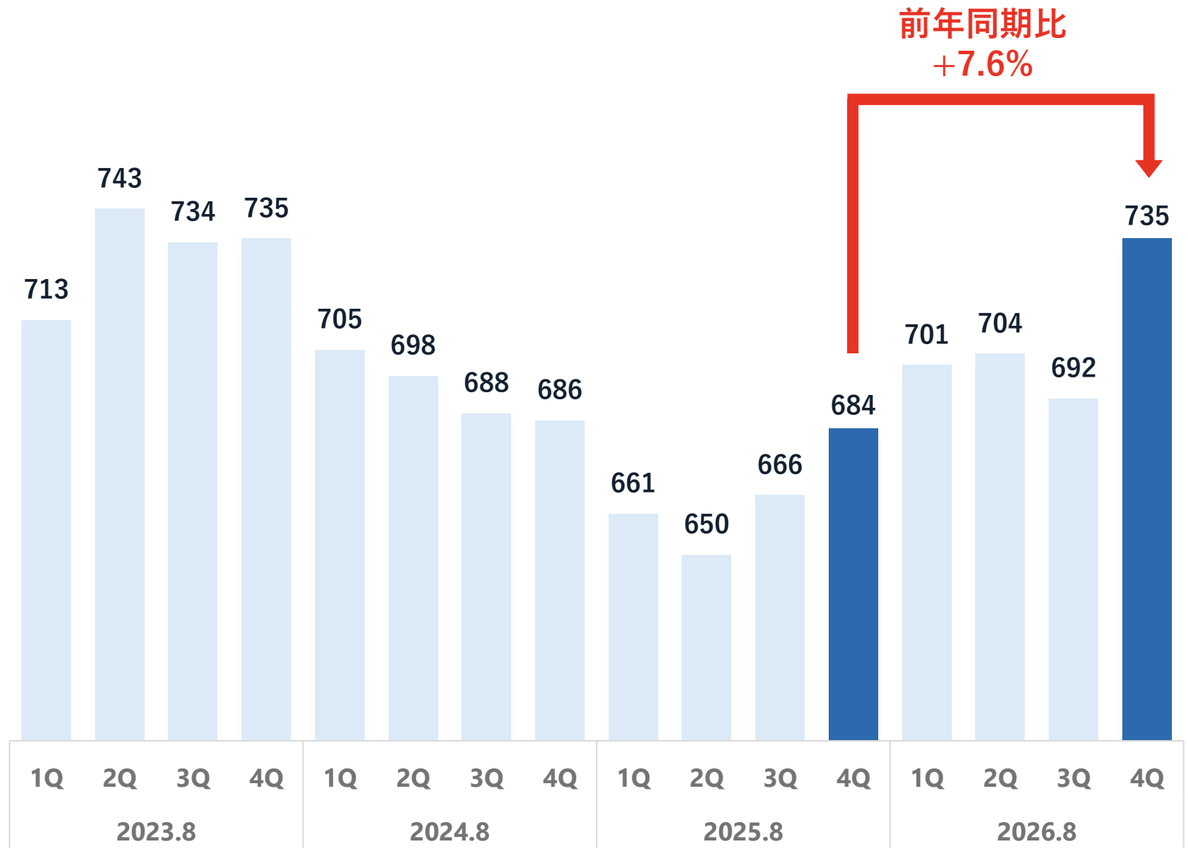
契約社数

単位：社



契約単価※

単位：千円



※ 契約単価：各期末月のARRを契約社数で除して算出

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

04

参考資料

SCIENCE ARTS

参考資料

Buddycomについて

Science Arts buddycom

フロントラインワーカーをつなげる、現場の音声×AIインフラです。
音声通話だけでなく、翻訳・映像・位置情報・AIアシスタントなどを備え、スマートフォン・タブレット・Windowsで利用できます。店舗や交通インフラなどの現場で活用され、円滑なコミュニケーションを通じて業務効率や顧客サービス向上をサポートします。

料金体系（サブスクリプション型）

初期費用なし ＋ 月額料金











Buddycom関連サービス

Buddycomの導入にあたって、ご希望のお客様には導入支援や研修サービス、運用代行などの有償サポートを提供します。
またセキュリティ上などの観点から、外部のサーバーをご利用できないお客様向けにオンプレミスサーバー、アプライアンスサーバーの販売を開始しました。

プラン（税抜）

		Talk Lite	Talk Enterprise	Livecast Enterprise
期間	年（IDあたり）	600円/月	1,200円/月	2,600円/月
	月（IDあたり）	1,000円/月	1,800円/月	3,900円/月
機能	音声通話	○	○	○
	映像配信			○
	音声テキスト化		○	○
	同時翻訳		○	○
	高セキュリティ		○	○

Buddycomは3つのプランを提供しています。
音声通話のみのTalk Lite、テキスト化や翻訳、高セキュリティな機能を備えた、Talk Enterprise、これらに映像配信を加えたLivecast Enterpriseを展開しており、お客様のニーズに応じた機能をご利用いただけます。

オプション

セーフティーサポート

1タップで状況を伝えられるカスハラ対策機能



よびだしベル

二次元コードからスタッフ呼び出しの通知がBuddycomに届く



コール

バリアフリーやインバウンドにも対応した遠隔接客機能



Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

社会貢献にまつわるトピック

大阪・関西万博における警備での採用

大阪・関西万博の警備及び防災活動に際して「Buddycom」を提供し、サプライヤーとして協賛を行いました。

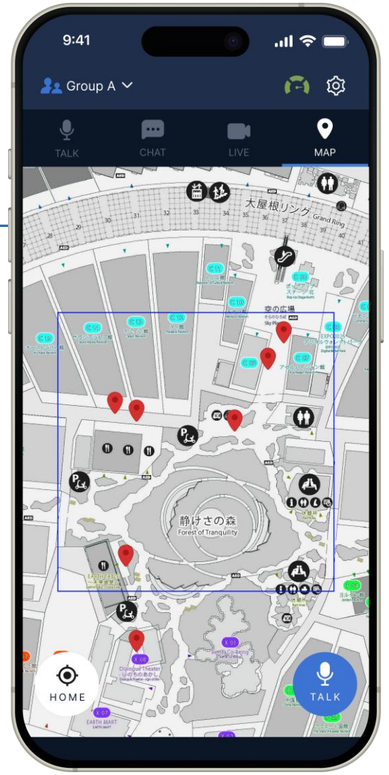


MAP通話に新機能を実装

万博協会の要望で開発

• MAP通話

ユーザーの位置を確認し、範囲内の相手と会話が可能。
地図に画像を重ねることで会場や警備情報を表示でき、
人員配置や現場状況をより詳しく把握しながら、迅速に
連携することが可能に。



今後の警備業界への展開

万博の実績と導入事例をベースに

大手新規獲得に注力

ALSOK　Safety & Good Life 大阪ガスセキュリティサービス

CSP セントラル警備保障　東洋テック

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

社会貢献にまつわるトピック

次世代を担う学生の主体的な活動を支援






文化祭

早稲田祭2026（早稲田大学）
第76回駒場祭（東京大学）
第67回京都大学11月祭（京都大学）
第67回名大祭（名古屋大学）
第75回筑駒文化祭（筑波大学附属駒場中学校・高等学校）
第80回灘校文化祭（灘中学校・灘高等学校）
第67回聖光祭（聖光学院中学校・高等学校）
第63回神戸高専祭（神戸市立工業高等専門学校）
ほか、8大学、3高校、2高専の文化祭

部活動

第59回東京六大学対校陸上競技大会
慶應義塾體育會競走部
早稲田大学競走部
明治大学ラグビー部
一橋大学ラグビー部
ほか、4団体

その他イベント

AGESTOCK実行委員会
第26回模擬国連会議関西大会
TEDxUTokyo実行委員会
立教大学池袋クリスマス実行委員会
ほか、18団体

地域・社会の安全を支える活動への貢献

災害ボランティア
七尾市社会福祉協議会（社福）




炊き出しボランティア
NPO法人TENOHASHI





水難事故防止パトロール
大洗サーフ・ライフ・セービング・クラブ



Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

競合比較（無線機）

SCIENCE ARTS

既存の無線機と比較し、簡便性・拡張性・機能性などにおいて差別化を図り、高い評価をいただいております。

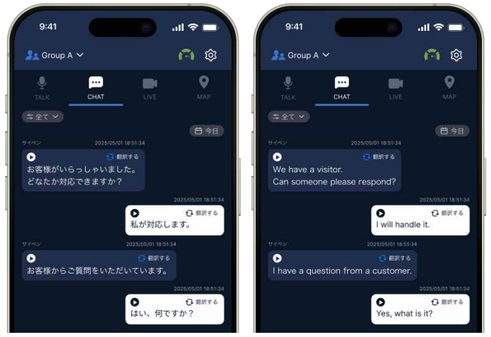
	Buddycom	特定小電力 トランシーバー	簡易無線	IP 無線機	MCA無線	業務用無線
導入コスト 初期費用	0 円	数千円～1万円	2万円～10万円	5~15万円	15～25万円	高価 （設備による）
ランニング コスト	600円/月～	0円 （耐用年数1~2年）	0円 （耐用年数2~3年）	1,800円～/月 （２年～7年契約必須）	2,000~3,000円/月	設備による
利 用 範 囲 （ 距 離 ）	無制限 （インターネットの 利用範囲）	～1km 視界が届く範囲 （遮蔽物に弱い）	～5km 視界が届く範囲 （遮蔽物に弱い）	日本全国 （携帯電話の利用範囲）	十数km ~ 日本全国 （契約範囲次第）	十数km ~ （設備による）
免許・認可等	不要	不要	一部必要	不要	必要	必要
グループ数 （チャンネル数）	無制限 運用実績:3万グループ	9～47	30,35,65	制限あり 255等	制限あり	制限あり 周波数の割当による
セキュリティ （混信・盗聴）	○ 暗号化	×	△ 製品による	△ 製品による	△ 製品による	△ 製品による
強 み	• 高い拡張性 • 専用機が不要 （回線、機材フリー）	• 安価 • シンプルな操作性	• シンプルな操作性	• シンプルな操作性	• シンプルな操作性	• 業種ごとに • 専用の周波数
弱 み	• スマホ操作の慣れが 必要	• 壊れやすい • 利用範囲に制限あり • 混信、傍受されやすい	• 利用範囲に制限あり • 拡張性は無い	• 高価 • 専用機が必要 • 拡張性は無い	• 高価 • 専用機が必要 • 拡張性は無い	• 設備投資が必要であり 非常に高価
そ の 他	• 柔軟な機能追加 • 月額契約も可能	• 1~2年で故障 • 混雑場所では混信 • グループ数が少ない		• 長期利用が必要 • レンタルもあるが高い	• 人口集中エリアしか カバーしていないので 利用できない場所がある	• 専用周波数は 公共機関のみ利用可

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

特許の取得

Buddycomは新たな機能開発を続け、差別化を図るために特許を取得。
また今後の海外展開を見据えて国際特許も複数取得。

テキスト化・翻訳
に関する特許※1



聞き逃し、聞き間違えによる
伝達ミスの低減。
多国籍な現場における
円滑なコミュニケーションを支援。

※1　日本 / 特許番号：6318292 / 登録日：2018/4/6
韓国 / 特許番号：10-2168913 / 登録日：2020/10/16
シンガポール / 特許番号：11201906536Q / 登録日：2021/1/26
中国 / 特許番号：110291769 / 登録日：2021/4/20
欧州 / 特許番号：3641287 / 登録日：2022/7/27
米国/ 特許番号：11568154 / 登録日：2023/1/31
米国/ 特許番号：11836457 / 登録日：2023/12/5

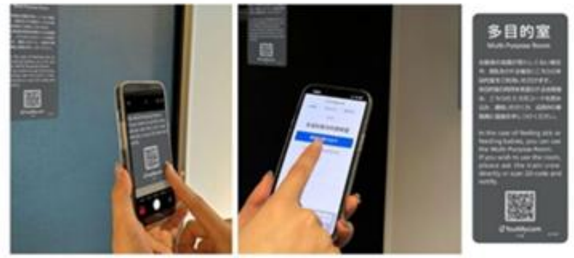
ライブキャスト
に関する特許※2



言葉だけでは説明が難しい現場でも、
正確な情報共有を実現。

※2　日本 / 特許番号：6407461 / 登録日：2018/9/28
米国 / 特許番号：1149012 / 登録日：2022/11/1

よびだしベル
に関する特許※3



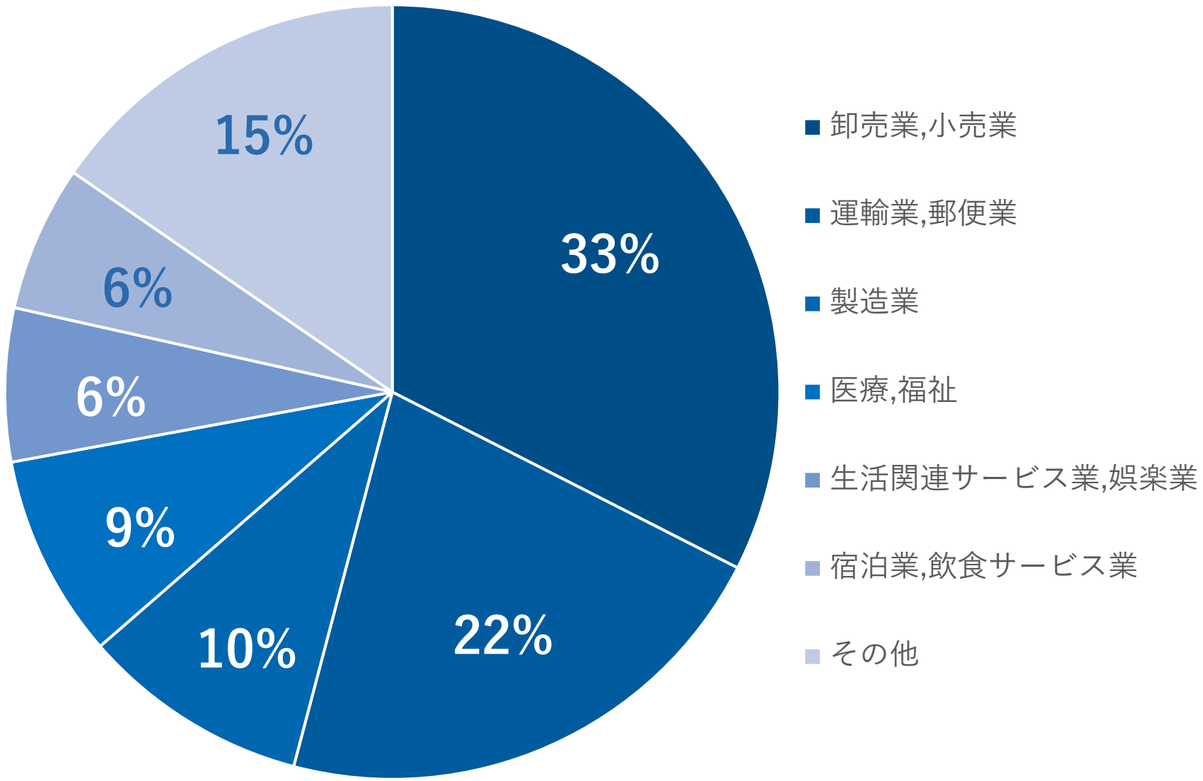
WEBアプリケーションを利用したPTT
通話、利用者が指定した選択肢に
対応する内容のトークグループへの
通知などが可能。

※3　日本 / 特許番号：7632859 / 登録日：2025/2/10

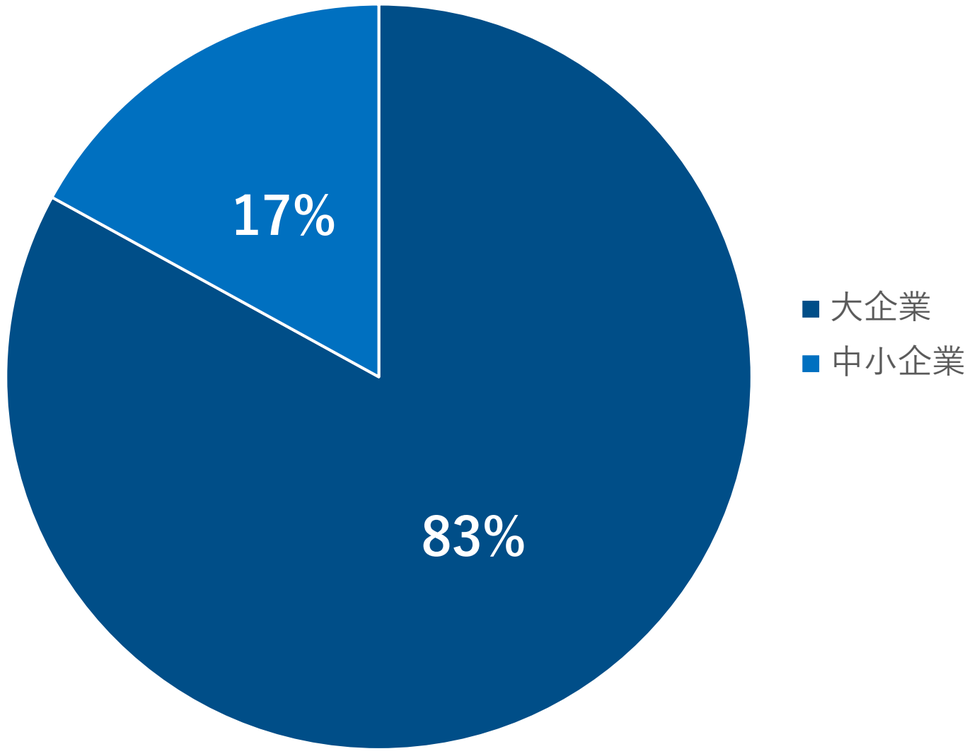
Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

Buddycomクラウドにおける年間経常収益（ARR）の顧客属性※

業種別構成比



顧客規模別構成比



※2026年8月時点

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

事業等のリスク

項目	主要なリスク	顕在化の可能性	影響度	リスク対応策
競合会社の参入と競争激化	当社のビジネスモデルと同様のビジネスモデルを掲げる新たな競合企業が誕生、市場参入することにより、また、既存競合企業との競争激化により当社の優位性が失われ、当社と主要顧客企業との取引が縮小される可能性は否定できず、当社の業績に重要な影響を及ぼす可能性	中	大	サービスの品質や価格での競合他社との差別化マーケティング強化による知名度の向上
人材の確保と育成	優秀な人材の採用・確保及び教育・育成が計画通りに進まない場合や、優秀な人材が社外流出した場合には、事業規模拡大の制約、顧客に提供するサービスの質の低下、それに起因する競争力の低下等により、当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性	中	大	優秀な人材を確保し、教育・育成していくことが必要不可欠であり、採用活動の強化と教育研修の充実を推進
販売店との関係	当社の売上高は販売店への依存度が高く、販売店の動向によって当社の業績に影響を与える可能性	低	大	特定の販売店に依存しないよう、複数の販売店との関係を強化

※その他の詳細については、有価証券報告書「第一部【企業の情報】　第2【事業の状況】　3【事業等のリスク】に記載しております。

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all rights reserved.

SCIENCE ARTS

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれております。
これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。
さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。
上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。
また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、
またこれを保証するものではありません。
本資料を開示する時期につきましては、2027年８月期に係る定時株主総会前に、毎期遅滞なく開示いたします。